（報告様式1）

20XX年　　月　　日

研究開発年度終了後61日以内の日付で作成してください。

大学発新産業創出基金事業　可能性検証

2023年度　実施報告書（研究開発進捗報告書）

**報告書作成にあたって**

本報告書は、当該年度に実施いただいた研究開発の実施内容や成果を正しく確認するために作成いただくものです。

**本資料は公開しません。**

**当該年度の研究開発開始時点～当該年度終了時点までの期間を対象**に作成してください。

本実施報告書は、**ＪＳＴと委託研究契約を締結した機関ごとに1部ずつ作成し、各機関における当該年度の研究開発実績を報告してください。**

提出時は青字の注意書きを削除してください。

なお、本報告書は、委託研究実績報告書（経理様式1）と合わせて、当該年度の**委託研究開発費執行内容の妥当性**の確認にも使用しますので、これが確認できる内容となるようご留意ください。

|  |  |
| --- | --- |
| グラント番号 | JPMJSF23　※続く2桁をご記載ください。 |
| 課題名 |  |
| 研究開発期間 | 西暦2023年　10月　１日　～　　　　　　年　　　月　　　日当該年度だけでなく、研究開発期間全体の日付を記載してください。 |
| 提案時のコース | 起業挑戦　／　企業等連携　　※当てはまる方を残してください。※本様式はコース共通ですので、以降の項目については当該研究開発に該当するもののみを記載いただければ問題ありません。 |
| 研究代表者機関・部署・役職・氏名 |  |
| 支援人材機関・部署・役職・氏名 |  |
| 企業担当者　機関・部署・役職・氏名 | ニーズ元企業が不在の課題は「企業なし」と記載してください。 |
| 研究機関種別 | 「代表機関」または　「共同研究開発機関」のいずれかを記載してください。 |
| 研究開発担当者　機関・部署・役職・氏名 |  |

**１．当該年度に実施した研究開発の総括**

|  |
| --- |
| 研究開発担当者が、当該年度において実施した研究開発について、全体計画書記載の「研究開発の目標」に対する達成度、「研究開発の計画」の実施状況、次年度の実施見込みを300字程度で簡潔に総括してください。**本資料は公開しません。**※図表掲載は不可です。※機種依存文字の使用は避けてください。※本枠内に記載してください。※箇条書きなどする場合、Wordの段落機能は使用しないでください。 |

**２．当該年度の研究開発内容**

①　研究開発計画の変更について

|  |
| --- |
| 当初の研究開発計画から変更した届け出等について簡潔に記載してください。届け出ていない変更については、別途届け出が必要な場合がありますので担当者の指示に従ってください。【記載例】　JSTへ申告済みの変更1件あり（試験項目aについての変更）※本枠内にご記載ください。該当がなければ「該当なし」と記載し、枠の削除などは行わないでください。※箇条書きなどする場合、Wordの段落機能は使用しないでください。 |

②　当該年度における研究開発の実施状況

全体計画書の「Ⅲ．研究開発の計画」において、**貴機関が担当した試験項目のうち、当該年度に計画していた実施内容**に対する実施状況について

・具体的な数値を示しながら、定性的でなくできるだけ定量的に得られた研究成果

・根拠となるデータ、写真、図表など

を記載してください。

**全体計画書「Ⅲ．研究開発の計画」の項目立てと揃えて記載してください。**

実験等を実施した条件（材料、方法、機器構成等含む）について第三者が実験内容を理解できる程度に、具体的に説明を加えてください。

**報告書として適切な表現で記載してください。**

特許調査、競合調査、市場調査、試作品によるユーザー評価などプレマーケティング等を実施した場合、その実施内容については、次項「③調査の実施について」に記載してください。

**※当該年度に担当した試験項目がない場合は、「該当なし」と記載してください。**

（記載例）

【技術的目標達成のために必要な実施項目】

* + 1. 目標達成のために解決すべき課題A：「○○○○」

1）試験項目A-a：○○○○○○○

担当者：　▲▲ ▲▲、△△ △△（○○大学）

当初計画（当該年度分）に対する実施状況：すべて実施できた／○○○について、実施できなかった。

実施期間：○年○月～○月

当該年度に実施した内容、結果：～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

③　調査の実施について

特許調査、競合調査、市場調査、試作品によるユーザー評価などプレマーケティング等を実施した場合、その実施内容（方法、対象）と結果、そこから得られた指針について、具体的に記載してください。

**全体計画書「Ⅲ．研究開発の計画」の項目立てと揃えて記載してください。**

**※当該年度に実施した項目がない場合は、「該当なし」と記載してください。**

（記載例）

【起業の可能性を判断するために必要な実施項目（技術的目標以外）】

* + 1. 起業の可能性判断のための課題D：「○○○○」

1）実施項目D-a：○○○○○○○

担当者：　▲▲ ▲▲、△△ △△（○○大学）

当初計画（当該年度分）に対する実施状況：すべて実施できた／○○○について、実施できなかった。

実施期間：○年○月～○月

調査の目的： ～～～～～～～～～

調査の種類（複数ある場合は、実施項目を分けて記載してください）： 知財調査　／　競合調査　／　市場調査　／　試作品ユーザーテスト　／　・・・

調査対象・範囲： 想定ユーザーである○○　（○名程度）　／　○○に関する製品等　／　○○に関する知的財産権等　／　・・・

調査の手法： ～～～～～～～～～～

当該年度に実施した内容、結果：～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

2）実施項目D-b：○○○○○○○

担当者：　▲▲ ▲▲、△△ △△（○○大学）

当初計画（当該年度分）に対する実施状況：すべて実施できた／○○○について、実施できなかった。

実施期間：○年○月～○月

調査の目的： ～～～～～～～～～

調査の種類（複数ある場合は、実施項目を分けて記載してください）： 知財調査　／　競合調査　／　市場調査　／　試作品ユーザーテスト　／　・・・

調査対象・範囲： 想定ユーザーである○○　（○名程度）　／　○○に関する製品等　／　○○に関する知的財産権等　／　・・・

調査の手法： ～～～～～～～～～～

当該年度に実施した内容、結果：～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

**３．研究開発目標の当該年度の達成状況**

　　全体計画書の「Ⅱ．研究開発の目標」について、当該年度内に得られた研究成果によりどの程度達成できたか、事実と理由を記載してください。

全体計画書「Ⅱ．研究開発の目標」の項目立て等と揃えて記載してください。

【記載例】

目標①「～～～を○○にする」

達成状況：すべて達成できた／○○○について、未達である

試験項目aの結果、図XXに示す通り～～～～～～～～～～～～結果が示された。

すなわち～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

**４．実用化・起業・技術移転の構想、展開状況について**

２．３．の状況を踏まえ、課題提案書（「３ イノベーションインパクト」「４　研究開発の目標」等）と比較しながら、実用化、起業、技術移転などに向けた、現時点での状況について記載してください。

構想や方針に変更がある場合、その内容と理由を記載してください。

**５．次年度の研究開発計画**

ここまでの内容を踏まえて、全体計画書「Ⅱ．研究開発目標」の達成に向け、次年度に計画している実施内容について記載してください。

本項で、やむをえず当初計画からの変更がある場合は、**必ずその計画変更について、事前に別途ご相談下さい。**本項への記載だけでは変更を承認することはできません。

**６．当該年度における知的財産への対応と、次年度の取り組み**

全体計画書の「Ⅱ．研究開発の目標」「Ⅲ．２．知財戦略について」に記載した内容など、知的財産権に関する構想について、当該年度の対応と、次年度に向けた取り組みを記載してください。

**７．当該年度の成果一覧**

可能性検証の支援により創出された内容を含むものを記載ください。

**●以下「すべて」を満たすものが記載対象です。**

　１．本研究期間開始以降に出願された特許や、公表された論文、学会発表や展示会出展等。

　２．内容に本課題の成果を含むもの。

　３．研究開発参加者（参加者リストに記載のある方）によるもの。

４．**当該年度内に**、すでに出願または公表されているもの。

**上記にあてはまらないもの（本支援により創出された内容を含まないものや、報告書作成時点で「予定」のもの等）は本欄には記載しないでください。**

※なお、「学術論文」「知的財産権」「新聞・雑誌記事」につきましては、別様式でJSTへ報告ください。（研究者向けハンドブックp.20、21参照）

※成果詳細の各表で、行が足りない場合は適宜追加してください。記載すべき成果が**ない場合は空欄のままにして、「該当なし」などの記載・表や行の削除などは行わないでください。**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 成果件数 |  |  |  |  |  |  |
| 知的財産権 | 学術論文　 | 学会発表　 | 展示会参加　 | 新聞・雑誌記事　 | 受賞等　 |
|  |  |  |  |  |  |

成果詳細

|  |
| --- |
| **知的財産権** |
| No. | 特許等の名称 | 出願番号 | 出願日（YYYY/MM/DD） | 出願人 | 発明者 |
| １ |  |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| **学術論文** |
| No. | タイトル | 雑誌名、巻、頁など | 公開日（YYYY/MM/DD） | 著者 |
| １ |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| **学会発表** |
| No. | タイトル | 学会名 | 発表の日付（YYYY/MM/DD） | 発表者 |
| １ |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| **展示会参加** |
| No. | タイトル | 展示会名 | 参加の日付（YYYY/MM/DD） | 発表者 |
| １ |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| **新聞・雑誌記事** |
| No. | 新聞・雑誌名 | 日付・掲載面 |
| １ |  |  |

|  |
| --- |
| **受賞等** |
| No. | 賞名 | 運用機関名 | 受賞の日付（YYYY/MM/DD） | 受賞者 |
| １ |  |  |  |  |

**８．民間企業との共同研究開発実績**

本支援テーマに関連する内容での企業との共同研究開発について、今年度中に行ったものがあれば、**終了したものも含めてすべて**記載してください。（起業挑戦の課題も、もしあれば記載ください。なければ空欄で結構です）

共同研究等の定義：

①大学等において、民間企業などの民間機関（組合を含む。以下「企業」という。）から研究者及び研究経費等を受け入れて、当該大学等の教員が当該企業の研究者と共通の課題につき共同して行う研究のこと。

②大学等及び企業において共通の課題について分担して行う研究で、大学等において、企業から研究者及び研究経費等、又は研究経費等を受け入れるもの。

③参画企業またはニーズ元企業と大学が共同研究契約またはそれに準じる契約を締結しているもの。

|  |
| --- |
| 契約件数（今後の予定含む）※半角数字で記載してください。 |
| **ニーズ元企業との契約** | **指定機関の企業との契約**※ニーズ元企業以外で、課題に参画していた（参加者リストに名前のある）企業との共同研究契約はここにお書きください。 | **その他企業との契約**※課題に参画していなかった企業との共同研究契約はここにお書きください。 |
|  |  |  |

具体的内容（行が足りない場合は適宜追加して下さい）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 契約相手先企業名 | 相手先の種類 | 契約期間 | 継続予定（○又は×） | 特記事項※その他企業の場合には経緯を記載してください※継続を予定しない場合にはその理由を記載してください |
| 1 | 株式会社●● | ニーズ元企業指定機関その他企業 | ○年○月～○年○月 |  |  |
|  |  |  | ○年○月（予定） |  |  |
|  |  |  |  |  |  |